

長かった夏休みも終わり、2学期が始まりました。規則正しい生活はできているでしょうか？お休みモードの心や身体を切り替えて、元気な学校生活をおくりましょう。

感染症が流行しています！！

秋になり、毎日の気温の変化が大きくなってきました。今年は各地で例年より早く、感染症による学級閉鎖が行われています。秋から冬にかけて文化祭の準備や受験など重要な時期が続きます。万全の体調で臨めるよう手洗い・うがいなどの基本的な予防行動を心がけ、予防接種をするなどして病気から体を守りましょう！



◎ インフルエンザ

現在隣県の東京都をはじめ、愛知県、岐阜県、京都府、福岡県などでインフルエンザによる学級閉鎖が行われている学校が報告されています。

症状：急激な発熱、咳、鼻水、関節痛、身体のだるさ

予防方法：手洗い、うがい、予防接種



◎ 流行性耳下腺炎（おたふく風邪）



流行性耳下腺炎は年間を通じて発生していますが、9月に入り本校においても流行性耳下腺炎による欠席者が出ています。流行性耳下腺炎は、**難聴や髄膜炎、精巣炎など重大な合併症を引き起こすことがある**ため、予防と早期治療が重要です。

症状：耳の下～あごのあたりが腫れて痛い、発熱

予防方法：予防接種が有効（2回以上が好ましい）

※母子手帳を確認し、感染歴や予防接種歴を確認しましょう！

※記録が残っていなかったり不安がある場合には病院で抗体検査を受けてみましょう！

上記の症状に気がいたら他の人にうつさないためにも、
早めに病院を受診しましょう！

9月は防災月間です！

大正12年9月1日関東大震災が発生しました。その大惨事を忘れないため、また、この時期は台風の被害が多い時期であることから9月は防災月間と定められました。

先日も、西日本での台風や北海道での地震など、大規模な自然災害が発生しており、日頃からの備えや防災意識の必要性を強く感じます。

防災対策には、『十分』とか『絶対大丈夫』というものはありません。これから紹介する防災対策だけでなく、一人一人が、自分の周りにどのような災害の危険が及ぶのかを考え、その被害をできるだけ少なくするために必要な対策を講じることが重要です。

・ 家の中の安全対策をしておく

この度の北海道地震や阪神・淡路大震災では多くの方が倒れてきた家具の下敷きになったり、大けがをしたりしました。大地震が発生したときには、「家具は必ず倒れるもの」と考えて、防災対策を講じておく必要があります。

・ 安否情報の確認方法を家族で決めておく

家族がそれぞれ別々の場所にいるときに、災害が発生したときには、お互いの安否を確認できるように、日頃から安否確認の方法や集合場所などを家族で話し合っておきましょう。

・ ライフラインの停止や避難に備えておく

大災害が発生したときには、電気やガス、水道、通信などのライフラインが止まってしまう可能性があります。ライフラインが止まっても自力で生活できるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大事です。また、自宅が被災したときは、安全な場所に避難し、そこで避難生活を送ることになります。避難所生活に必要なもの（非常用持ち出し品）をリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。



夏休み中の怪我について

本校では全員が「スポーツ振興センター共済給付金制度」に加入しており、学校管理下（授業中・登下校中・部活動中など）で発生した怪我で病院を受診した場合に、医療費を請求することができます。長期休業中の怪我は、学校が把握していない場合があるので、担任または保健室へ知らせてください。給付対象になる場合には、申請に必要な書類を渡します。

※総医療点数500点未満や、第三者行為による病気・ケガは原則として申請できません。

申請をしても、スポーツ振興センターでの審査の結果、給付金が支給されないことがあります。保険外診療（初診料や文書料、差額ベッド代）、メガネ等の修理費、交通費などは給付対象外です。申請から給付金支給までは1～2ヶ月ほどかかります。